

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0070
評価年度 令和 5年度
所属 1488
事務事業番号 00014
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
児童館運営事業

所属長名 西本 美和
記入者 徳永 幸代

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	004	児童館運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 7 児童館が、児童館運営基本方針及び活動基本指針に基づき、より広域的に多くの児童が利用できる魅力ある児童館づくりを積極的に推進し、あわせて地域における子どもの健全育成や子育て機能の充実を図っていく。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 急速な少子化の進行に伴う少子高齢化や、女性の就業率の上昇、共働き世帯の割合の増加等、子育て家庭を取り巻く環境も大きく変化している。核家族化や地域におけるつながりの希薄化等により、子育てに関する負担や不安、孤独感が高まっている。また、子どもが地域で幅広い年代の人々と関わり、様々な体験をする機会が減少している。さらには、貧困世帯の問題や児童虐待相談件数の増加等、子どもを取り巻く環境は厳しい現状にある。 (見直しや改善等の経過) 令和4年度に引き続き、こども家庭庁の「令和5年度児童館における健全育成活動等開発事業」の採択を受け、児童館において「児童育成支援拠点事業」等2つのテーマでモデル事業を実施した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	0歳～18歳未満の子どもや、子育て中の保護者を対象に
目的(何のために)	地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的として
手段(どのようなやり方で)	長期的・継続的にかかわり、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図り、遊びの拠点と「居場所」場の提供、家庭や地域に対する子育て支援活動を実施し、
成果(どのような状態にするのか)	子育て中の保護者の負担を軽減し、親子がいきいきと生活できたり、小中学生が友だちの中で自分を発揮し、地域やいろいろな世代の方とのつながりを深めたりする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	136,799	138,032	154,615	177,980	216,202	168,144	168,144
事業費	20,600	21,380	21,165	38,182	76,404	28,346	28,346
国庫支出金	3,607	3,668	0	0	0	0	0
県支出金	335	14	0	0	0	0	0
地方債	0	0	3,100	0	0	0	0
その他	113	64	1,067	67	67	67	67
一般財源	16,545	17,634	16,998	38,115	76,337	28,279	28,279
人件費計	116,199	116,652	133,450	139,798	139,798	139,798	139,798
事務・技術(人)	2.33	1.23	1.26	1.55	1.55	1.55	1.55
技能労務(人)	0.00	1.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
再任用(人)	3.90	3.90	3.30	4.00	4.00	4.00	4.00
会計年度任用(人)	24.45	24.54	22.91	22.94	22.94	22.94	22.94
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0070
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
事務事業番号 00014 児童館運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-50-05-00-01-00	児童館運営費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)親子ふれあい活動事業数	回	650.00	650.00	560.00	560.00	560.00	560.00	560.00
		499.00	548.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)小中学生以上活動事業数	回	400.00	400.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
		273.00	291.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童館親子ふれあい活動参加者数 R6～児童館利用者	人	38,500.00	38,500.00	48,000.00	48,000.00	50,000.00	50,000.00	52,000.00
		9,609.00	11,338.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)親子ふれあい活動について満足度 80%以上の人数割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		直営で情報共有、連携しながら事業実施していることは妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		参加者の満足度の高さ、参加者増加傾向から成果は上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		年代別に各児童館の特性を活かした事業を実施しており効率的			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		子育て支援、子どもの遊び場、居場所として施策に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)		未就学児とその保護者に対して、子育て総合支援センターと連携して地域子育て支援拠点（つどいの広場）事業を実施し、関係機関と連携しながら活動内容の充実を図っている。小学生以上の学齢期の子どもに対しても、児童館の拠点性、多機能性、地域性を活かし、子どもの居場所としての機能を充実させるとともに教育委員会等との連携を図っていく。 令和5年度をもって伊香立児童館については廃止したが、周辺児童館の周知を図り、利用促進を図る。				

【部局評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)		幅広い年齢層の子どもとその保護者が自由に利用できる児童館の特性を活かし、それぞれ児童館の利用傾向や地域性を踏まえながら、子どもの居場所、遊び場としての利用に加え、子育て支援の観点で運営を検討する。				

210 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

211 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0071
評価年度令和 5年度
所属1488
事務事業番号00044

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
ファミリーサポートセンター運営事業

所属長名 西本 美和
記入者 森 勇人

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	006	ファミリーサポートセンター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法					
事業概要	(事業概要) 仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うため、平成13年4月に「ファミリーサポートセンター」を設立し、同年7月から会員による相互援助活動を行っている。 事業の管理運営については、社会福祉法人大津市社会福祉協議会に委託している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出生数の減少に伴い、対象となる子どもが減っている中でも、保護者の働き方の多様化や近所づきあいの希薄化などにより、子どもの見守りを支援する当該事業は一定のニーズがある。 (これまでの見直し) 依頼会員が安心して利用できるよう、国が示す基準に基づいて安全講習の実施を強化している。また、援助会員を増やすために、地域での関係機関の会議での担い手への声掛けや、会員同士の誘い合いを促す取組に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	育児の援助を行いたい者と受けたい者が、ファミリーサポートセンターで会員登録し、
目的(何のために)	仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うために、
手段(どのようなやり方で)	ファミリーサポートセンターのアドバイザーが会員間のニーズのあった調整を行い、援助活動を実施し、
成果(どのような状態にするのか)	仕事と育児の両立支援、地域の子育て支援を行う。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,548	17,108	16,495	16,495	16,495	16,495	16,495
事業費	14,378	14,378	14,545	14,545	14,545	14,545	14,545
国庫支出金	4,792	4,792	4,848	4,848	4,848	4,848	4,848
県支出金	4,792	4,792	4,848	4,848	4,848	4,848	4,848
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,794	4,794	4,849	4,849	4,849	4,849	4,849
人件費計	1,170	2,730	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
事務・技術(人)	0.15	0.35	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

212 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0071
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
事務事業番号 00044 ファミリーサポートセンター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-25-00	ファミリーサポートセンター運営事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)センター会員数 (新規)	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		167.00	159.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)説明会、講習会 等の参加人数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		85.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)センター活動件 数	件	5,435.00	5,539.00	5,644.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00
		2,376.00	3,069.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A	
			B	ほぼ妥当である			
			C	あまり妥当ではない			
			D	妥当ではない			
	評価理由		市全域に子育て支援ネットワークを作る仕組みであるため。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B	
			B	やや上がっている			
			C	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
	評価理由		各指標は目標を達していないが成果達成に向けて取り組んでいる。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A	
			B	やや効率的である			
			C	あまり効率的でない			
			D	効率的でない			
	評価理由		委託相手方が市全域に子育て支援のネットワークを有している。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		B	
			B	やや貢献している			
			C	あまり貢献していない			
			D	貢献していない			
	評価理由		地域の力により切れ目のない子育て支援の一部を担っている。				
	評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度は前年度に比べ、全体の活動件数が1.3倍に増加し、特に保育施設までの送迎や保育施設利用前後の預かりが1.5倍に増加している。未就学児童の預かり・送迎の利用ニーズが高まったこと、従来の傾向として、利用数の増減は個別事案によるところが大きいことが理由として考えられる。引き続き、利用を求める方がそれぞれのニーズに合わせて制度を活用できるよう、特に、依頼も援助も行うことのできる「両方会員」での加入を促進し、将来的に持続可能な組織体制の構築を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き事業の周知に努め、相互扶助による子育て支援の充実に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00044 ファミリーサポートセンター運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)センター会員数 (新規)	人	200.00 167.00	200.00 159.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
	指標説明	会員登録数（依頼会員、提供会員、両方会員）						
(活動)説明会、講習会 等の参加人数	人	400.00 85.00	400.00 92.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
	指標説明	会員のための講習会、交流会参加人数						
(成果)センター活動件 数	件	5,435.00 2,376.00	5,539.00 3,069.00	5,644.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00
	指標説明	実際に援助活動を行った件数						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0072
評価年度 令和 5年度
所属 1488
事務事業番号 00871
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
青少年健全育成事業

所属長名 西本 美和
記入者 宿谷 真穂

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010	青少年の健全育成				
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	001	青少年健全育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	地方青少年問題協議会法					
事業概要	(事業概要) 次代を担う青少年を健全に育成するため、本市における青少年健全育成施策を推進する。また、関係団体・機関等と連携を図りながら、家庭・地域・学校が一体となった市民運動として事業を展開し、青少年の健全育成に対する意識高揚を図る。(１) 青少年健全育成に係る各種啓発活動 (２) 青少年育成市民会議活動への支援 (３) 中学生広場の開催					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子高齢化や情報化の急速な進展、生活様式の変化など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、SNSの利用の仕方など問題が多く存在する。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事業が中止されてきたことは、子どもや保護者の体験事業等の参加について影響していることが考えられる。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び青少年関係団体を対象に
目的(何のために)	次代を担う青少年の健全育成を行うために
手段(どのようなやり方で)	青少年育成学区市民会議等と連携して事業を展開し
成果(どのような状態にするのか)	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図るとともに、青少年が健やかに成長できる社会環境の整備を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,431	16,489	17,325	17,729	17,729	17,729	17,729
事業費	7,288	7,463	7,859	8,043	8,043	8,043	8,043
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	488	438	413	438	438	438	438
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	6,600	0	0	0	0
一般財源	6,800	7,025	846	7,605	7,605	7,605	7,605
人件費計	9,143	9,026	9,466	9,686	9,686	9,686	9,686
事務・技術(人)	0.58	0.55	0.59	0.61	0.61	0.61	0.61
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.49	1.48	1.52	1.54	1.54	1.54	1.54
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0072
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
事務事業番号 00871 青少年健全育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-01-00	青少年健全育成事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 啓発活動の回数	回	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,137.00	1,096.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 青少年育成学区 民会議活動への参加者 数	人	50,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00
		52,154.00	71,108.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		市と関係団体が協力して事業を実施する体制は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		地域での活動は回復傾向で参加者も増加しており、成果をあげてい			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		市と市民団体がそれぞれに分担し、効率的に事業に取り組んでいる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		市と市民団体の協働で、市内全域での取り組みにより貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域の子どもを地域で守り育てるため、青少年の健やかな成長と自立に向けた取り組みを継続していく。地域との連携についても工夫しながら進め、地域での体験事業や見守り活動を支援する。評価指標については、地域事業の再開もあり参加者が増加した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域団体との連携を進め、子どもの見守りや体験事業の展開の支援を継続していく。		

216 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1488	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00871	青少年健全育成事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0073
評価年度 令和 5年度
所属 1488
事務事業番号 02265
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
子ども・若者育成支援推進事業

所属長名 西本 美和
記入者 宿谷 真穂

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010	青少年の健全育成				
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	003	子ども・若者育成支援推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法、こども大綱					
事業概要	(事業概要) 子ども・若者総合相談窓口と子ども・若者支援地域協議会を設置し、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を支援する体制をつくる。子ども・若者支援地域協議会において、意見交換会、研修会、グループワーク、講演会を実施し、支援機関のスキルアップと連携を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 深刻化している少子高齢化や就業形態の多様化、情報社会の進展による有害情報の拡散、貧困問題、不登校、若年無業者、引きこもりの長期化等の問題が顕在化している。新型コロナウイルス感染症の対応が、将来にわたり子ども・若者にどのような影響を与えるのか注視する必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成29年10月に子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会を設置。令和3年度には窓口の人員を週14時間分増員し、体制の充実を図った。令和5年度から当事者交流、体験といった当事者支援事業を子ども・若者総合相談窓口の委託に含めた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を対象に
目的(何のために)	次代を担う子ども・若者を支援するために
手段(どのようなやり方で)	子ども・若者支援地域協議会の各関係機関と意見交換と連携を深め
成果(どのような状態にするのか)	全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		13,198	12,263	12,934	13,090	13,090	13,090	13,090
事業費		8,600	8,893	9,408	9,408	9,408	9,408	9,408
国庫支出金		0	153	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		8,600	8,740	9,408	9,408	9,408	9,408	9,408
人件費計		4,598	3,370	3,526	3,682	3,682	3,682	3,682
事務・技術（人）		0.51	0.35	0.37	0.39	0.39	0.39	0.39
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

218 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0073
評価年度 令和 5年度
所属 1488
事務事業番号 02265
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
子ども・若者育成支援推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-11-00	子ども・若者育成支援推進事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00	1,300.00	1,300.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		1,984.00	1,909.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		56.70	62.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		相談窓口の設置、団体連携の体制促進により目標達成が図れ、妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		相談件数は減少しているが成果目標を達成している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		相談窓口の民間委託で専門的スキルが活用され効率的			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		困難を有する子ども・若者支援体制を充実させ、施策に貢献			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	子ども・若者支援地域協議会の各機関が円滑に連携し、困難を有する子ども・若者が社会的自立に向かえるよう支援する。子ども・若者総合相談窓口では、相談に加え、地域や団体等と連携し、段階的な体験活動や当事者交流といった居場所づくりにも取り組み、相談者の社会参加を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	困難を有する子ども・若者が将来に希望をもって社会的に自立に向かえる環境づくりのため、子ども・若者総合相談窓口を含めた支援地域協議会参加機関が連携し、取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02265 子ども・若者育成支援推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	令和2年度より代表者・実務者会議のみをカウントすることに変更						
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00	1,300.00	1,300.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		1,984.00	1,909.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	平成29年10月1日開設						
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		56.70	62.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	代表者・実務者会議への出席率						

事務事業評価シート（１／２）

220 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0074
評価年度令和 5年度
所属1488
事務事業番号02414

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
子ども・子育て支援事業（子ども・若者政策課）

所属長名 西本 美和
記入者 森 勇人

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	001	子ども・子育て支援事業（子ども・若者政策課）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象外		
根拠法令等	社会福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法、子ども・若者育成支援推進法					
事業概要	（事業概要） 「第2次大津市次世代育成支援行動計画」は、令和2年3月に統合され、新たに「大津市子ども・若者支援計画」が策定された。今後は、統合後の計画における各施策の進捗管理を行い、分析・評価しながら、取組や事業内容の改善を提言し、計画を推進していく。 なお、定量評価及び定数評価については、評価時点において確定している同計画の進捗状況評価及び評価指標の数値等に基づき評価を実施している。（今回は令和4年度の実績値に基づき評価を実施。）					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化や核家族化の進行、地域の繋がりの希薄化等を背景にした孤立化や新たな待機児童の発生、仕事と子育ての両立の困難さなどにより、子育て世帯にとって不安や負担感が増大している。加えて、子どもの貧困や児童虐待の増加等、子ども・若者を取り巻く環境は厳しい現状である。 （これまでの見直し） 子どもが生まれる前から自立するまでを切れ目なく支え、「子ども・若者の最善の利益」が実現できる社会を目指すため、前計画を含む子ども・若者関連の3つの計画を統合し、本計画を策定した。今年度は次期計画について、こども基本法に基づくこども計画として位置づけ策定に取り組んでいく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子ども・若者支援事業を、
目的(何のために)	子どもが生まれる前から自立するまでを切れ目なく支えるため、
手段(どのようなやり方で)	推進・強化し、
成果(どのような状態にするのか)	子ども・若者の最善の利益が実現できる社会を目指す。

【コスト】 （単位：千円）

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	40,535	57,201	33,573	55,285	55,285	55,285	68,285
事業費	27,899	45,107	16,309	34,377	34,377	34,377	47,377
国庫支出金	13,584	4,789	5,812	14,922	14,922	14,922	14,922
県支出金	333	407	800	800	800	800	800
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,982	39,911	9,697	18,655	18,655	18,655	31,655
人件費計	12,636	12,094	17,264	20,908	20,908	20,908	20,908
事務・技術（人）	1.62	1.37	2.00	2.50	2.50	2.50	2.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.44	0.52	0.44	0.44	0.44	0.44
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

221 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0074
評価年度 令和 5年度
所属 1488
事務事業番号 02414

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
子ども・子育て支援事業（子ども・若者政策課）

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-15-10-05-28-00-05-00	子ども・子育て支援事業費（子ども・若者政策課）
予算所属名称	
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課	

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)推進した事業割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		99.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)評価指標事業の達成度	%	90.00	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		93.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由	子ども・若者支援計画に基づき各事業の推進を図っている。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由	成果としている評価指標事業の達成度も着実に上がっている。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由	事業担当課における評価により進捗管理を実施できている。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由	各事業が推進され、切れ目のない支援につながっている。				
	評価理由					

【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 拡大
所属コメント (400文字)	現行計画については、引き続き各事業の進捗管理を実施し、子どもが生まれる前から自立するまでを切れ目のない支援に取り組んでいく。また今年度は現行計画の最終年度であることから、昨年度実施したアンケート調査に基づく本市の現状や課題、また国が定めることも大綱等を踏まえ、次期計画の策定に取り組んでいく。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 拡大
部局コメント (400文字)	現行計画については、各種事業や施策の推進に努めていく。また、次期計画については国の動向や本市の現状を踏まえ策定を進めていく。

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02414 子ども・子育て支援事業（子ども・若者政策課）

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 推進した事業割合	%	100.00 99.53	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	事業担当課が「拡充」及び「維持・推進」と評価した事業の割合（「事業終了」は除く） ※進捗取りまとめの都合上、当該年度実績値は前年度の実績について記載						
(成果) 評価指標事業の達成度	%	90.00 93.01	95.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	計画評価指標事業について、令和6年度の目標値に対する達成度（割合）の平均 ※進捗取りまとめの都合上、当該年度実績値は前年度の達成度について記載						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0075
評価年度令和 5年度
所属1435
事務事業番号00011

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子育て総合支援センター
大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

所属長名 井上 佳子
記入者 小幡 亜紀子

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援			
事務事業	010	大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	(事業概要) 生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問する「大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業」を実施している。保育士と民生委員児童委員が2人一組で訪問し、赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに子育て支援情報の提供を行う。また訪問し、支援が必要な場合はすこやか相談所等に連絡する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 核家族化や地域との関わりが希薄化している中、子育てへの不安感、負担感を抱くことが多く地域での見守りが必要とされている。 令和5年2月20日より「出産・子育て応援給付金」が開始されたことで、新生児訪問での対応が増えてきている。 (見直しや改善等の経過) 平成29年度につどいの広場利用者のニーズ調査を行い、新生児期は子育てに関する情報提供を求めていることから、平成30年度より子育てハンドブックを対象者全員に配布している。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	生後4カ月までの乳児がいる全ての家庭を対象に
目的(何のために)	乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児にとり健全な育成環境を整えていくために
手段(どのようなやり方で)	保育士と民生委員児童委員が2人一組で訪問し
成果(どのような状態にするのか)	支援が必要な家庭に対して適切なサービスが提供できるようにする。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		14,236	14,673	16,126	15,833	15,833	15,833	15,833
事業費		5,604	5,989	7,442	7,149	7,149	7,149	7,149
国庫支出金		887	397	773	773	773	773	773
県支出金		887	357	773	773	773	773	773
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,830	5,235	5,896	5,603	5,603	5,603	5,603
人件費計		8,632	8,684	8,684	8,684	8,684	8,684	8,684
事務・技術（人）		0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

224 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0075
評価年度 令和 5年度
所属 1435
事務事業番号 00011

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子育て総合支援センター
大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-15-10-05-22-00-15-00	大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業費
予算所属名称	
福祉部子ども未来局子育て総合支援センター	

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 訪問員研修回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 訪問実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		95.71	97.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】	
評価項目	評価の観点
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か
	A 妥当である
	B ほぼ妥当である
	C あまり妥当ではない
	D 妥当ではない
評価理由	
2 有効性	地域民生委員児童委員等による訪問・見守りが有効である
	A 上がっている
	B やや上がっている
	C あまり上がっていない
	D 上がっていない
評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか
	A 効率的である
	B やや効率的である
	C あまり効率的でない
	D 効率的でない
評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか
	A 貢献している
	B やや貢献している
	C あまり貢献していない
	D 貢献していない
評価理由	
	乳児を抱える家庭の不安解消に寄与している
評価理由	

【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当
所属コメント (400文字)	事業の方向性
	現状維持
	新生児訪問と合わせ、大津で生まれ育つ子ども全ての確認の機会として、今後も、民生委員児童委員の協力を得て事業を継続していく。母子保健課、すこやか相談所との連携のもと、地域の中で子どもが健やかに育つ環境整備を図り、全戸訪問時に必要な子育て支援情報を提供できるよう幅広く情報を収集し発信していく。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当
部局コメント (400文字)	事業の方向性
	現状維持
	関係機関等の協力を得て、子育てに関する情報を提供するなど、子育て中の家庭の孤立化を防ぎ、地域で安心して子育てできる環境の整備につなげていく。

225 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0076
評価年度令和 5年度
所属1435
事務事業番号00036

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子育て総合支援センター
子育て総合支援センター事業

所属長名 井上 佳子
記入者 小幡 亜紀子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	002	子育て総合支援センター事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	子ども・子育て支援法					
事業概要	(事業概要) ・大津市の子育て支援に係る企画、実践、情報収集と発信の拠点として事業展開する。 「子どもや子育てに夢が広がる場、世代を超える出会いとつながりあいの場、安心と信頼の気持ちを抱き、誰もが集える場、子育ては楽しい！幸せとを感じる場、一人ひとりの出番があり、共に育ち合える場」を理念に、情報の収集と発信事業、親子・家族の交流、学習、体験事業、子育て語り合い相談事業等を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出生数の減少や幼稚園の3年保育の実施、保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は低年齢化、減少傾向にある。 コロナ禍の間は開館日は予約制（1時間ごとの4枠）であったが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、令和5年5月より通常の自由来館とした。 (見直しや改善等の経過) 利用者の低年齢化に伴い、事業の内容を見直し利用者満足度の向上を図ってきた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	・就学前の子どもとその家族や、子育て支援に関わる関係者等の子育て仲間を対象に
目的(何のために)	・子どもを安心して産み育て、共に育ち合う子育て仲間のつながるまちづくりを推進するために
手段(どのようなやり方で)	・日常的なつどいの場の開設、気軽に集え子育て支援につながる講座の開催、子育てについての相談対応、身近な居住地域における遊びの提供等、人と関わるのが心地よいと感じる親子、家族の体験活動を通して
成果(どのような状態にするのか)	・子育ての楽しさや子どもを地域で育て合う大切さを認識し、自身の子育てに活かし、子育て仲間とつながり合い、共に子育てを楽しむことを通して、子育ての負担感を軽減し、子どもを産み育てることに喜びを見出す。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	70,862	70,217	68,512	70,765	70,765	70,765	70,765
事業費	22,708	22,591	20,310	22,563	22,563	22,563	22,563
国庫支出金	2,815	4,281	3,086	3,083	3,083	3,083	3,083
県支出金	2,755	4,281	3,083	3,083	3,083	3,083	3,083
地方債	8,746	9,500	7,900	6,700	0	0	0
その他	171	46	138	184	184	184	184
一般財源	8,221	4,483	6,103	9,513	16,213	16,213	16,213
人件費計	48,154	47,626	48,202	48,202	48,202	48,202	48,202
事務・技術（人）	3.63	3.55	3.55	3.55	3.55	3.55	3.55
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	6.40	6.23	6.41	6.41	6.41	6.41	6.41
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

227 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0076
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1435 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター
事務事業番号 00036 子育て総合支援センター事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-11-00	子育て総合支援センター事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 子育て総合支援センター開設日	日	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00
		292.00	292.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 子育て講座開催回数	回	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		169.00	177.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 子育て総合支援センター来場者数	人	24,500.00	24,500.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00
		26,320.00	60,332.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 年間事業参加人数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00
		8,770.00	5,063.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		市内6か所のつどいの広場を統括する拠点であるため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		子育て中の家族に必要な施設である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		他機関と連携の他に、アプリを活用し効率的な情報発信をしている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		つどいの広場提供や、情報発信等により子育て支援に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	子育てで家庭の状況を把握し、市内の子育て支援の拠点としての機能の充実に図りながら、関係機関や子育て支援者と連携し、子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。また、子育てアプリ等を活用して幅広く子育ての情報を発信していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	保護者が安心して生き生きと子育てできるよう、関係機関等と連携を図りながら、子育て支援の充実に努めている。		

228 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

229 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0077
評価年度令和 5年度
所属1435
事務事業番号02384

進捗区分評価完了
福祉部子ども未来局子育て総合支援センター
子育て地域活動支援事業

所属長名井上 佳子
記入者小幡 亜紀子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	003	子育て地域活動支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	子ども・子育て支援法					
事業概要	(事業概要) 福祉7エリア内に、子育て中の家族が気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を整備している。 ・地域子育て支援拠点を、志賀・東部のエリア2カ所で指定管理者により、北部・中北部・南部のエリア3カ所で委託により、中部・中南部のエリア2カ所で直営により、それぞれ実施している。 ・子育てステーション事業を、市立保育園14カ所で実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出生数の減少や幼稚園の3年保育の実施、民間保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は減少傾向にあり、低年齢化が進んでいる。 (見直しや改善等の経過) 市内の各福祉エリアに子育て支援拠点を整備し、互いに情報交換を行うなど子育て情報の共有を行い、事業の見直しを行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	就学前の子どもとその家族を対象に
目的(何のために)	子育て中の家族の不安感・負担感を軽減し、孤立化を防止するために
手段(どのようなやり方で)	気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を地域に開設し、
成果(どのような状態にするのか)	安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能を充実させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	51,446	50,199	55,212	62,924	56,571	56,571	56,571
事業費	33,996	34,687	39,092	44,500	38,147	38,147	38,147
国庫支出金	11,121	7,687	11,184	11,183	11,183	11,183	11,183
県支出金	10,971	7,465	11,184	11,183	11,183	11,183	11,183
地方債	0	0	3,800	5,700	0	0	0
その他	14	0	14	14	14	14	14
一般財源	11,890	19,535	12,910	16,420	15,767	15,767	15,767
人件費計	17,450	15,512	16,120	18,424	18,424	18,424	18,424
事務・技術(人)	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.10	0.46	0.65	1.37	1.37	1.37	1.37
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

230 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0077
評価年度 令和 5年度
所属 1435
事務事業番号 02384
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子育て総合支援センター
子育て地域活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-19-00	子育て地域活動支援事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

【定量評価】

指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)つどいの広場箇所数	カ所		6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
			6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ステーション事業実施園数	カ所		14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
			14.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)つどいの広場来場者数	人		37,000.00	37,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00
			42,240.00	54,258.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ステーション事業参加者数	人		2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00
			2,786.00	3,659.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		各福祉エリアに、子育て支援拠点を整備している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		子育て中の家族に必要な施設である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		指定管理等により各福祉エリアに、子育て支援拠点を整備している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		つどいの広場提供や、保育園事業により子育て支援に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も、各福祉エリア内に整備した一般型・子育て支援拠点の機能充実を図りながら、関係機関と連携しながら、地域の中で子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。(志賀・東部のエリア2カ所指定管理、北部・中北部・南部エリア3カ所エリア委託、中部・中南部エリア2カ所直営)また、市立保育園14カ所で実施している子育てステーション事業により、身近な地域の子育て支援拠点として子育て家族が利用しやすく、安心して子育てができる環境を整える。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域の身近な子育て支援の資源を活用し、子育て家庭が利用しやすく、安心して子育てできる環境の整備に努めていく。		

231 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0078
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 00017

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
幼稚園子育て支援事業

所属長名 大南 公彦
記入者 衣川 洋子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	013	幼稚園子育て支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	学校教育法 24 条・幼稚園教育要領					
事業概要	(事業概要) 幼稚園が、地域や家庭の実情に応じながら、子育て支援機能を活用して「親と子の育ちの場」としての役割や機能を充実し、家庭や地域の教育力を支える。 (主な事業) ・一時預かり事業・親子の絆を深める子育て支援事業・未就園（0～2 歳児）親子通園・子育て講座・子育て相談・園庭園舎開放					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 身近に子育ての悩みや不安を相談できる人がおらず子育てにストレスを感じる保護者や子どもとの関わり方が分からず親子関係に課題のある保護者が見られる。 (見直しや改善等の経過) 気軽に親子で来られる場としての事業や内容を改善し、親子の触れ合い遊びや家庭でもできる遊びを提供し、園と家庭がつながるような取組を推進した。また就労など保育の必要性に応じた預かり保育の拡充に取り組んだ。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内各地域の未就園親子ならびに幼稚園在園親子を対象として
目的(何のために)	地域における子育ての孤立化解消及び家庭の教育力向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	未就園親子通園、園庭園舎開放、遊具用具絵本等の貸し出し、子育て相談、子育て講座、在園児預かり保育、子育て情報の提供等の子育て支援施策により
成果(どのような状態にするのか)	幼児の心身の発達の助長と保護者の子育てに対する喜びや充足感、幼児の育ちに対する理解等を一層推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	100,900	102,684	103,062	103,190	103,190	103,190	103,190
事業費	2,822	1,412	1,790	1,918	1,918	1,918	1,918
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	535	197	0	0	0	0	0
一般財源	2,287	1,215	1,790	1,918	1,918	1,918	1,918
人件費計	98,078	101,272	101,272	101,272	101,272	101,272	101,272
事務・技術（人）	0.50	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

233 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0078
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 00017

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
幼稚園子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-10-80-00-01-00	幼稚園子育て支援事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)未就園親子通園等の実施回数	回	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00
		2,618.00	2,693.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)在園児預かり保育の実施回数	回	5,500.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
		6,955.00	6,923.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)未就園親子通園等の参加人数	人	35,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00
		23,439.00	18,819.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)在園児預かり保育利用人数	人	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00
		90,681.00	88,798.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A	
			B	ほぼ妥当である			
			C	あまり妥当ではない			
			D	妥当ではない			
	評価理由		地域の子育てを支援し幼児教育センターとしての役割を担っている				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B	
			B	やや上がっている			
			C	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
	評価理由		家庭で経験できない親子での活動を期待しリピーターが増えている				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A	
			B	やや効率的である			
			C	あまり効率的でない			
			D	効率的でない			
	評価理由		全園で子育て支援員を配置し計画的な事業の充実を図っている				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		B	
			B	やや貢献している			
			C	あまり貢献していない			
			D	貢献していない			
	評価理由		地域の子育て支援の拠点として家庭の教育力を支える事業を推進				
	評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	家庭の価値観の多様化がみられる中、幼稚園が子育てセンターとして、未就園事業のあり方や内容を工夫し、安心して事業に参加したり、幼稚園に入園できる子どもや保護者とのつながりを大事にした事業の充実を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市立幼稚園では、幼児教育に加えて、子育て支援機能を持ち、地域とともに親と子の育ちの場を築いている。今後は子育て支援機能の充実について、市民のニーズを踏まえた支援のあり方を検討していく必要がある。		

234 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0079
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 00058
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
職員研修事業（幼保支援課）

所属長名 大南 公彦
記入者 北井 恭子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	006	職員研修事業（幼保支援課）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法第４５条					
事業概要	(事業概要) ・保育所に求められる役割に応えるため、研修や研究活動を通して公私立保育園職員の資質向上を図り、保育所運営及び、保育内容の質を高める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) ・子どもの命と権利を守るセーフティネットとしての役割を担い、子どもの発達保障と保護者の子育てを支援するという保育者の専門性と資質向上が更に求められている。 (見直しや改善等の経過) ・第６次研修計画を策定し、計画に基づき実施。対象毎の課題の明確化、研修参加者の学びの共有化を図りつつ進めた。主体的な参加を目指す。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公立保育所の職員を対象とする。（一部民間保育所職員・地域型保育事業職員も参加の研修とする）
目的(何のために)	保育所等に働く職員が、保育所の運営及び保育内容の質を高め資質向上を図る
手段(どのようなやり方で)	対象者別育成研修（経験年数や職種で分けるもの）及びテーマ（内容）別研修の開催や県・近畿・全国レベルの研修会への派遣・研究部会活動の実施
成果(どのような状態にするのか)	子どもや保護者の実態やその背景の社会情勢を認識し、保育に関する知識と技術を用いて適切に判断・対応する

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		9,618	9,990	10,517	10,606	10,606	10,606	10,606
事業費		729	1,032	1,559	1,648	1,648	1,648	1,648
国庫支出金		241	542	541	552	552	552	552
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		488	490	1,018	1,096	1,096	1,096	1,096
人件費計		8,889	8,958	8,958	8,958	8,958	8,958	8,958
事務・技術（人）		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
会計年度任用（人）		0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

236 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0079
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
事務事業番号 00058 職員研修事業（幼保支援課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-07-00	職員研修事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】								
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)実施回数	回	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00
		60.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加人数	名	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00
		1,179.00	1,451.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		国、県及び関係団体等の研修を活用し、資質の向上につなげている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		職員の保育力の向上につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		経験年数や職種などそれぞれの状況に応じた研修が実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		保育園職員の資質の向上が施策の充実につながっている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	第6次研修計画に基づき、それぞれの職種に求められる役割や専門性、様々な時事課題や多様なニーズに対応できる研修内容を企画し、実施していく必要がある。今後も、職員の目的意識の向上や、キャリアデザインを意識した主体的な学びを目指すとともに、園内での学びの共有など工夫を図りながら、保育の質の向上につながる研修を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	公立・民間問わず実施している研修事業は、本市の保育の質の向上に不可欠であり、基本的な保育スキルとともに、社会情勢等も踏まえた研修内容が必要であり、今後も継続していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00058 職員研修事業（幼保支援課）

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)実施回数	回	63.00 60.00	63.00 60.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00
	指標説明	年間で開催した研修会、研究部会、派遣研修の回数						
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00 3.00	6.00 3.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	参加総数／公立保育園等職員数						
(成果)参加人数	名	1,800.00 1,179.00	1,800.00 1,451.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00
	指標説明	年間で参加した総数						

事務事業評価シート（１／２）

238 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0080
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 00060

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
公立保育所運営事業

所属長名 大南 公彦
記入者 近澤 文

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	007	公立保育所運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 公立保育園の管理・運営を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 就学前児童数は減少しているが、共働き世帯の増加等により保育需要は高い。また、保育士人材の確保が難しいこともあり、入所児童は減少している。一方で、要支援児については増加傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度に浜大津保育園を民営化し市の財政負担の軽減を行ったが、令和元年度に民営化の推進が撤回されたため、今後は財政負担と大津の保育の質の維持等を考慮しつつ、適正な運営を行う。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公立保育園及び入所児童
目的(何のために)	公立保育園の管理・運営及び保育の実施
手段(どのようなやり方で)	「望ましい環境の中で心身ともに調和のとれた発達を図り、自主・自立・協調性を養い、豊かな情操と創造性を培う」を大津市基準保育目標とし、保育を実施する。
成果(どのような状態にするのか)	各年齢ごとに発達の特徴とねらい、内容、保育者のかかわり方を「保育課程」として作成し職員が共通理解の上で子どもの自発性を大切に興味や欲求を満たした生活や遊びを通して個々の発達に応じた保育をする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2, 251, 348	2, 295, 173	2, 301, 748	2, 299, 781	2, 299, 781	2, 299, 781	2, 299, 781
事業費	146, 700	147, 167	153, 742	151, 775	151, 775	151, 775	151, 775
国庫支出金	4, 017	4, 560	0	0	0	0	0
県支出金	620	642	43	125	125	125	125
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	59, 292	54, 240	65, 890	58, 975	58, 975	58, 975	58, 975
一般財源	82, 771	87, 725	87, 809	92, 675	92, 675	92, 675	92, 675
人件費計	2, 104, 648	2, 148, 006	2, 148, 006	2, 148, 006	2, 148, 006	2, 148, 006	2, 148, 006
事務・技術 (人)	198. 17	198. 17	198. 17	198. 17	198. 17	198. 17	198. 17
技能労務 (人)	7. 00	6. 00	6. 00	6. 00	6. 00	6. 00	6. 00
再任用 (人)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
会計年度任用 (人)	165. 62	176. 40	176. 40	176. 40	176. 40	176. 40	176. 40
嘱託 (人)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
臨時 (人)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0080
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
事務事業番号 00060 公立保育所運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-15-41-00-01-00	公立保育所運営事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)年度当初入所定員	人	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
		1,533.00	1,520.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年度当初入所児童数	人	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
		1,085.00	1,025.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)障害児の受入児童数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		128.00	124.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		保育の提供拠点として公立保育所ならではの保育が提供できている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		公立保育所に求められる指導的・先導的役割を果たしている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		民間園に知識・技能を効率的に伝え、保育の質の向上を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		保育の提供や保育の質の向上に不可欠な役割を果たしている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	公立保育園として市全体の保育の質を担保するために必要不可欠な役割を果たしており、財政的な観点と保育の質の維持・向上のバランスを取りながら適正な運営を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	公立保育園として、本市の保育の質を担保するとともに、市民のセーフティネット的な役割を担っていく必要がある。また、昨今の市民の保育ニーズの高まりにも公立保育園として応えていく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00060 公立保育所運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 年度当初入所定員	人	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
	指標説明	1,533.00	1,520.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公立保育園の入所定員（4月1日現在）								
(成果) 年度当初入所児童数	人	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
	指標説明	1,085.00	1,025.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公立保育園の入所児童数（4月1日現在）								
(成果) 障害児の受入児童数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	128.00	124.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公立保育園の入所障害児数（4月1日現在）※平成28年度より指標に追加								

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0081
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 00175
【基本情報】
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
幼稚園管理運営事業

所属長名 大南 公彦
記入者 鹿島 良平

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実			
事務事業	016	幼稚園管理運営事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	(事業概要) 幼稚園28園、こども園1園の管理運営をはじめ、幼児教育活動に必要となる教材や設備等の教育環境の充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化や共働き世帯の増加など、社会状況の変化に伴い、幼児教育施設が多様化する中で、幼児教育の質の向上や教育環境の充実が求められている。 (見直しや改善等の経過) 市立幼稚園の3年保育の全園実施、規模適正化計画の推進に加えて、今後、財政負担と大津の教育環境の維持等を考慮しつつ、適正に運営管理を行う。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	園児・教職員
目的(何のために)	各幼稚園の管理運営及び教育活動を円滑に行う。
手段(どのようなやり方で)	各幼稚園の地域の実態に応じ、工夫を凝らした教育環境整備に努める。
成果(どのような状態にするのか)	幼児教育環境の整備・充実を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		47,433	51,758	51,635	51,444	51,444	51,444	51,444
事業費		43,302	46,988	46,865	46,674	46,674	46,674	46,674
国庫支出金		2,707	0	0	0	0	0	0
県支出金		4,950	3,599	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		100	286	0	0	0	0	0
一般財源		35,545	43,103	46,865	46,674	46,674	46,674	46,674
人件費計		4,131	4,770	4,770	4,770	4,770	4,770	4,770
事務・技術（人）		0.47	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2 / 2）

242 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0081
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 00175

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
幼稚園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-05-08-00-07-00	幼稚園管理運営費（幼保支援課）	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)教材費（消耗品 ＋印刷製本費－図書）	千円	11,200.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		6,120.00	4,678.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)園児 1人当たり の教材費（4歳以上）	円	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
		4,236.00	3,574.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			評価
評価項目	評価の観点				
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	質の高い幼児教育を提供するためには適切な教育環境の整備が必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	地域の活性化など、公立幼稚園が果たす役割は大きい			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	規模適正化により経済効率性を高め教育に対する効率も高めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	幼稚園ニーズの受け皿として貢献は大きい			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	市民のニーズにあった幼稚園のあり方について、研究を進めていく必要がある。		

【部局評価結果】	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	幼稚園の園児数が減少傾向にある中、幼稚園のあり方について、検討を進めていく必要がある。		

243 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0082
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 02423
【基本情報】

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
子ども・子育て支援事業

所属長名 大南 公彦
記入者 鹿島 良平

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実			
事務事業	015	子ども・子育て支援事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	(事業概要) ①次世代を担う子ども・子育てを社会全体で支援するための施策の検討（多様な方策による保育所待機児童の解消や地域における子育て支援機能の充実） ②子育て家庭をとりまく社会での家庭支援意識の醸成を図る。 ③子ども・子育て支援事業計画の施策を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 子ども・子育て支援事業計画に基づく教育・保育の確保、保育人材の確保はますます重要となり、少子化社会対策と相まって日本社会の最重要課題となっている。 (見直しや改善等の経過) 子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度から、子どもが生まれる前から自立するまでを対象とした「大津市子ども・若者支援計画」に統合し、その計画の趣旨・背景を踏まえた取り組みを行っている。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	子育て世代を対象として
目的(何のために)	子ども・子育て支援の充実を図るために
手段(どのようなやり方で)	子ども・若者支援計画に基づく施策を展開し
成果(どのような状態にするのか)	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上と量の拡充が図られる

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		14,291	14,062	14,405	14,074	14,074	14,074	14,074
事業費		8,210	7,732	8,075	7,744	7,744	7,744	7,744
	国庫支出金	3,670	3,602	3,875	3,841	3,841	3,841	3,841
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,540	4,130	4,200	3,903	3,903	3,903	3,903
	人件費計	6,081	6,330	6,330	6,330	6,330	6,330	6,330
事務・技術（人）		0.72	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業評価シート（2/2）

245 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0082
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
事務事業番号 02423 子ども・子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-70-00	子ども・子育て支援事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)子ども・子育て会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】							
評価項目		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である			A
			B	ほぼ妥当である			
			C	あまり妥当ではない			
			D	妥当ではない			
	評価理由		法定計画に基づく、本市の子育て施策の根幹となる事業である				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている			A
			B	やや上がっている			
			C	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
	評価理由		量の確保と質の向上を計画的に進める事業であり有効である				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である			A
			B	やや効率的である			
			C	あまり効率的でない			
			D	効率的でない			
	評価理由		現状を詳細に分析し策定した計画に基づく事業であり効率的である				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している			A
			B	やや貢献している			
			C	あまり貢献していない			
			D	貢献していない			
	評価理由		総合計画で重要施策と位置付けられている事業であり貢献度は高い				
	評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	待機児童の大幅な増加に対する対策として、今後、保育人材の確保に積極的に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	待機児童の解消に向けた取組として、保育士確保に向けた取組は重要なものであり、今後も重点的に取り組んでいく必要がある。		

246 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0083
評価年度 令和 5年度
所属 1447
事務事業番号 02547
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
学校図書充実事業（幼稚園）

所属長名 大南 公彦
記入者 鹿島 良平

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実			
事務事業	022	学校図書充実事業（幼稚園）			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律				
事業概要	(事業概要) 幼稚園児の読書活動を推進するため、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 幼稚園児の読書活動を推進するため、第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図っている。 (見直しや改善等の経過) 第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき引き続き各幼稚園の蔵書等の整備を行う。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各幼稚園に
目的(何のために)	各幼稚園の蔵書の充実のために
手段(どのようなやり方で)	園児用図書を購入し
成果(どのような状態にするのか)	幼稚園児が図書に親しむ機会が増える。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,470	1,483	1,488	1,470	1,470	1,470	1,470
事業費	1,392	1,405	1,410	1,392	1,392	1,392	1,392
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	596	1,080	1,400	0	0	0	0
一般財源	796	325	10	1,392	1,392	1,392	1,392
人件費計	78	78	78	78	78	78	78
事務・技術（人）	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

248 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0083
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
事務事業番号 02547 学校図書充実事業（幼稚園）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-41-00	学校図書充実事業費〔幼稚園〕	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)図書購入数	冊	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
		842.00	826.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)平均図書購入数	冊	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
		29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		多様な図書に触れることは子どもの感じる心を育てるために必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		図書の充実は幼児期の教育の質の向上と園児の発達の面で有効			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		子どもの確かな学習と生きる力を養う基盤につながり効率性がある			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		図書との触れ合いは園児の発達の側面からも貢献度が高い			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	子ども達が身近な場所で楽しみながら図書を選び、読み、触れ合う機会を提供することは、幼稚園教育要領に定められた言葉の獲得に関する領域を中心とした発達に非常に有効であり、そのための環境整備に継続して努めていく必要がある。		

【部局評価結果】	総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	学校図書の充実については、幼稚園児の育ちを支えるために重要なことであり、今後も計画的に図書の充実を図っていく必要がある。			

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02547 学校図書充実事業（幼稚園）

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)図書購入数	冊	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
	指標説明	842.00	826.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
各幼稚園の図書購入冊数								
(成果)平均図書購入数	冊	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
	指標説明	29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
購入冊数／33園（H28から32園）（H30から31園）（R3から29園）								
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							
	指標説明							

事務事業評価シート（１／２）

250 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0084
評価年度令和 5年度
所属1447
事務事業番号02621

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局幼保支援課
学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

所属長名 大南 公彦
記入者 衣川 洋子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実			
事務事業	027	学校支援総合推進事業〔幼稚園〕			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	(事業概要) 各園において幼稚園協力者会議を組織し、幼稚園と地域・保護者がともに協力し合い子どもの育成にあたる。幼稚園運営支援の一方策として、外部人材活用を積極的に行い、子どもとのかかわりや保育環境への働きかけ、安全教育にかかわる取り組みや学校（幼稚園）評価を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会が複雑多様化し、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちに豊かな感性や道徳心、人間関係作りなどの力を育み、社会生活を送るうえで必要な資質、能力、態度を育成することが大切である (見直しや改善等の経過) 各園で、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てていこうとする取組が推進されている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園を対象に
目的(何のために)	幼稚園が家庭や地域社会との結びつきを深め、社会全体で子どもを見守る体制をつくるために
手段(どのようなやり方で)	学校（幼稚園）協力者会議を組織・開催するとともに、地域人材の積極的活用の推進を図り
成果(どのような状態にするのか)	大津市学校園経営の指針に掲げる多様性の尊重と一人一人を大切にした教育を推進し、地域や社会に開かれた園経営を目指す。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,380	1,390	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
事業費	290	290	280	280	280	280	280
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	290	290	280	280	280	280	280
人件費計	1,090	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
事務・技術（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

251 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0084
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課
事務事業番号 02621 学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-02-00	学校支援総合推進事業費〔幼稚園〕	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)学校（幼稚園）協力者会議の開催回数	回	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00
		73.00	74.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)子どもの幼稚園満足度	点	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		2.90	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		家庭、地域と緊密な連携を図り子どもの育成に取り組んでいる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		園教育への協力体制の充実、安全確保への支援等につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		外部人材の活用が人と関わる力の育成や豊かな体験に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		子ども・子育て支援の充実に直接つながる事業である			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も園と地域、保護者がより緊密な連携を図り、地域の子どもの育成する協力体制を整えていく。また、外部人材を活用した事業についても推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	当該事業は、質の高い幼児教育のために重要な事業であり、今後も地域や保護者、外部人材等の協力を得ながら事業を推進していく必要がある。		

252 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0085
評価年度令和 5年度
所属1410
事務事業番号00063

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局保育幼稚園課
民間保育施設運営助成事業

所属長名 若林 雄一
記入者 平松 理枝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実			
事務事業	001	民間保育施設運営助成事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	保育所等運営補助金交付要綱等				
事業概要	(事業概要) 民間保育所等に対し、障害児保育補助など保育士の加配に要する経費など、運営費の一部を助成をすることで保育の充実を図っていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化や女性就労の対応及び幼児教育・保育の無償化による保育ニーズは年々増加する中で、待機児童解消への期待とともに保育の質の向上が求められる。 (見直しや改善等の経過) 事業計画に基づく民間保育所等の整備強化に伴う保育士等の処遇改善や特別加配等の助成を制度化し、保育の質の向上に資する。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	児童福祉法に基づく認可を受けた民間保育所等
目的(何のために)	民間保育所等の保育の充実、公民格差の是正、特別保育事業の実施
手段(どのようなやり方で)	保育所等が実施する各事業の経費を補助することによって
成果(どのような状態にするのか)	民間保育所等の保育の充実が図られ、もって児童福祉の増進を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		1,798,170	1,811,554	1,801,712	1,826,894	1,826,894	1,826,894	1,826,894
事業費	事業費	1,782,195	1,793,254	1,785,362	1,808,594	1,808,594	1,808,594	1,808,594
	国庫支出金	206,556	215,861	162,797	195,494	195,494	195,494	195,494
	県支出金	129,422	199,236	201,847	196,890	196,890	196,890	196,890
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,446,217	1,378,157	1,420,718	1,416,210	1,416,210	1,416,210	1,416,210
	人件費計	15,975	18,300	16,350	18,300	18,300	18,300	18,300
	事務・技術(人)	1.75	2.10	1.85	2.10	2.10	2.10	2.10
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.75	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

254 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0085
評価年度 令和 5年度
所属 1410
事務事業番号 00063

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局保育幼稚園課
民間保育施設運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-20-54-00-01-00	民間保育施設運営助成事業費	福祉部子ども未来局保育幼稚園課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 年度当初入所定員数	人	7,083.00	7,083.00	7,043.00	7,110.00	7,110.00	7,110.00	7,110.00
		7,083.00	7,043.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 障害児受入園	園	69.00	70.00	73.00	73.00	73.00	73.00	73.00
		70.00	73.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 年度当初受入児童数	人	7,061.00	7,061.00	7,061.00	7,064.00	7,064.00	7,064.00	7,064.00
		7,061.00	7,038.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	国及び県の手引きの基に助成制度を整備していることは妥当である				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	概ね民間保育所等の安定的な運営に対する効果が出ている				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	高い保育の質を維持するのに運営助成は効率的である				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	保育所等の保育士確保と保育の質の向上に運営助成が貢献している				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業における幾つかの各補助事業について見直し三年目となるが、各保育施設の各事業補助金の活用が見られ、これにより保育士等職員の確保や処遇の改善が実施されたといえる。一部の事業については見込を若干下回る実績であったため、活用を促進するとともに効果の検証等を引き続き行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大津市総合計画の第2期実行計画でも質の高い幼児教育・保育の充実のため、民間保育施設運営助成の実施が掲げられており、保育環境の充実や保育士の処遇改善といった“保育の質の向上”を目指した支援を行うとともに、より効果的な補助制度となるよう継続的に検証を行う。また、増加傾向である保育需要に対し、様々な観点から保育士確保策を検討し、関係所属で連携しながら、待機児童対策に取り組む必要がある。		

255 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0086
評価年度令和 5年度
所属1410
事務事業番号02405

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局保育幼稚園課
病児・病後児保育事業

所属長名 若林 雄一
記入者 平松 理枝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	003	病児・病後児保育事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 国庫補助金を活用して、病児・病後児保育の実施経費を民間施設に補助する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化への対策及び女性就労の促進により多様な保育サービスが求められている。 (見直しや改善等の経過) 病児保育について、法の規定に基づき、整備された保育所等に対して国の補助金を活用している。 国補助金の補助基本単価の増額や加算の追加等、本事業にかかる状況等に応じて都度見直しが行われている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	病児保育を実施する民間施設
目的(何のために)	多様化する保育ニーズに対応するため
手段(どのようなやり方で)	国等の補助制度を活用し経費の一部を補助することによって
成果(どのような状態にするのか)	多くの方が病児・病後児保育を利用できる状態にする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	64,946	54,605	122,796	88,025	88,025	88,025	88,025
事業費	64,011	53,665	120,686	87,085	87,085	87,085	87,085
国庫支出金	21,328	18,676	40,211	29,011	29,011	29,011	29,011
県支出金	21,328	18,185	40,211	29,011	29,011	29,011	29,011
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	21,355	16,804	40,264	29,063	29,063	29,063	29,063
人件費計	935	940	2,110	940	940	940	940
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.25	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

257 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0086
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1410 福祉部子ども未来局保育幼稚園課
事務事業番号 02405 病児・病後児保育事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-20-54-00-08-00	病児保育事業費	福祉部子ども未来局保育幼稚園課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)病児・病後児保育実施施設数	箇所	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		6.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)病児・病後児保育延利用者数	人	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00
		1,675.00	1,868.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	法の規定に基づく事業であり妥当である				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	保育ニーズでも特に必要とされることから有効である				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	国の補助金を活用して補助することから有効である				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	子育て環境の充実には欠かせない保育サービスであり貢献している				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	病児対応型施設は市内で6箇所運営されていたが、大津市北部地域において病児保育事業を実施していた事業者が、令和5年3月末をもって事業を廃止したことから、公募を実施したが応募事業者がなかったため、引き続き令和6年度に北部地域での病児保育事業者の選定を行う。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から延べ利用児童数が減少していた前年度と比べ利用数が増加しており、引き続き事業を継続していく必要があると考える。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	病児保育事業は、保護者の就労等で病気の子どもを自宅で保育できない場合のニーズに応える重要な事業であり、北部地域での事業実施に向けた取組を進めていくとともに、継続して事業を実施していく。		

258 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0087
評価年度令和 5年度
所属1410
事務事業番号02439

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局保育幼稚園課
一時預かり事業

所属長名 若林 雄一
記入者 平松 理枝

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実			
事務事業	004	一時預かり事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	児童福祉法				
事業概要	(事業概要) 国等の補助制度を活用し、一時預かり事業を実施する民間保育所等に対して経費の一部を補助する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化への対策及び女性就労の促進により多様化する保育ニーズの中で、一時預かりを求める声が大きくなっている。 (見直しや改善等の経過) 一時預かり保育について、法の規定に基づき、国の補助金が活用されている。 国補助金の補助基本単価の増額や加算の追加等、本事業にかかる状況等に応じて都度見直しが行われている。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	一時預かり事業を実施する民間保育所等
目的(何のために)	多様な保育ニーズに対応するため
手段(どのようなやり方で)	国等の補助制度を活用して経費の一部を補助することによって
成果(どのような状態にするのか)	一時預かり事業の実施を促進し、多くの方が一時預かり事業を利用できる状態にする。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		117,069	118,033	113,936	139,584	139,584	139,584	139,584
事業費		116,289	117,253	113,156	138,804	138,804	138,804	138,804
	国庫支出金	43,664	40,711	37,718	46,268	46,268	46,268	46,268
	県支出金	38,763	42,859	37,718	46,268	46,268	46,268	46,268
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	33,862	33,683	37,720	46,268	46,268	46,268	46,268
	人件費計	780	780	780	780	780	780	780
事務・技術（人）		0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業評価シート（2/2）

260 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0087
評価年度 令和 5年度
所属 1410
事務事業番号 02439
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局保育幼稚園課
一時預かり事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-20-54-00-07-00	一時預かり事業費	福祉部子ども未来局保育幼稚園課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)一時預かり事業 実施施設数	箇所	44.00	48.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
		48.00	51.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一時預かり事業 延べ利用人数	人	36,071.00	46,255.00	58,199.00	58,199.00	58,199.00	58,199.00	58,199.00
		46,255.00	58,199.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		法の規定に基づき、国の補助金を活用することは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		女性就労の促進等から有効な事業である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		国の補助金等を活用して補助することから効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		女性就労の促進など、子育て環境の充実に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	保育士不足のため拡充を図ることが難しい現状であるが、一時預かり事業は一定の需要が見込まれることから、今後も一時預かり事業の実施を推進していく。また、幼稚園型一時預かりについては、認定こども園の増加に伴い利用数が年々増加しており、今後も動向を注視していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	保育施設への入所が困難な状況により、保育施設で実施する一般型の一時預かり事業に対するニーズは増加しており、継続的かつ安定的な事業実施に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1410 福祉部子ども未来局保育幼稚園課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02439 一時預かり事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)一時預かり事業 実施施設数	箇所	44.00	48.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
	指標説明	48.00	51.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年度末現在								
(成果)一時預かり事業 延べ利用人数	人	36,071.00	46,255.00	58,199.00	58,199.00	58,199.00	58,199.00	58,199.00
	指標説明	46,255.00	58,199.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年度末現在								

事務事業評価シート（１／２）

262 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0088
評価年度令和 5年度
所属1406
事務事業番号00025

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
母子父子福祉対策事業

所属長名 藤川 義則
記入者 宇田 むつみ

【基本情報】	
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
基本政策	002 心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします
施策	006 安定した社会保障制度の運営
取組の方向性	002 自立支援の推進
事務事業	003 母子父子福祉対策事業
新規継続区分	継続
運営方法	その他
評価区分	対象
根拠法令等	大津市寡婦福祉住宅条例
事業概要	(事業概要) 母子・父子家庭等の自立促進と福祉の増進を図るため、各種事業を推進する。 寡婦福祉住宅事業（7戸） 母子福祉団体の育成事業（大津市母子福祉のぞみ会） 母子家庭等の相談事業（母子父子自立支援員2名、ひとり親家庭福祉推進員54名）
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 子どもの貧困問題が大きな課題となっている中、低収入の割合が高いひとり親家庭にとっては、物価高騰により安定した生活を営む見通しが持ちにくくなっている。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度から令和5年度において、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策の一環として、ひとり親家庭に対し、臨時給付金を支給。（令和5年度は、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業〈事務事業番号4217〉で実施） 寡婦福祉住宅の廃止に向けて、現入居者に機会を見つけて退去の話をしている。

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	母子家庭、父子家庭および寡婦の
目的(何のために)	生活の安定と福祉促進を図るために
手段(どのようなやり方で)	生活全般の相談を受け、情報提供や支援を行うとともに、母子福祉団体団体への補助を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	母子・父子家庭、寡婦が安心して生活し、児童が健全に養育されるようになる

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		92,500	3,504	3,579	3,725	3,725	3,725	3,725
事業費	事業費	89,762	2,084	2,159	2,305	2,305	2,305	2,305
	国庫支出金	67,374	0	0	0	120	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	177	108	108	108	108	108	108
	一般財源	22,211	1,976	2,051	2,197	2,077	2,197	2,197
	人件費計	2,738	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420
	事務・技術（人）	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.38	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0088
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課
事務事業番号 00025 母子父子福祉対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-01-00	母子父子福祉対策事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 寡婦住宅の入居者の年間延べ人数	人	24. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
		20. 00	12. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動) 母子福祉団体補助金の年間支給額	千円	500. 00	500. 00	500. 00	500. 00	500. 00	500. 00	500. 00
		238. 00	267. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 寡婦住宅の入所率	%	29. 00	14. 29	14. 29	14. 29	14. 29	14. 29	14. 29
		23. 81	14. 29	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 母子福祉団体の事業参加人数	人	250. 00	250. 00	250. 00	250. 00	250. 00	250. 00	250. 00
		173. 00	262. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	推進員や団体は地域支援者として生活支援を積極的に展開				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	団体活動を通じた支援や個々への支援・情報提供により自立を支援				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	さまざまな方法で寄り添いながら支援している				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		B
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	ひとり親家庭等の自立支援につながっている				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	母子福祉団体は、子どもの貧困対策として「フードパントリー事業」など団体独自の各種事業を積極的に展開しており、市としても、引き続き、連携を図っていく。ひとり親家庭福祉推進員の相談活動については、現状を維持しつつ、スマートフォン等の普及による今後の情報提供のあり方や推進員活動制度自体の周知方法など、各方面の意見を聞きながら、活動について検討を行い、ひとり親家庭の自立に向けた支援を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	関係団体との連携・協力を図りながら、ひとり親家庭への相談事業や支援の充実に引き続き取り組んでいく。		

264 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1406	福祉部子ども未来局子ども家庭課	
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
事務事業番号	00025	母子父子福祉対策事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

265 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0089
評価年度 令和 5年度
所属 1406
事務事業番号 00029
【基本情報】

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
母子家庭等自立支援事業

所属長名 藤川 義則
記入者 宇田 むつみ

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	002	自立支援の推進			
事務事業	007	母子家庭等自立支援事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	自立支援教育訓練給付金事業実施要綱ほか				
事業概要	（事業概要） 母子父子自立支援員2名を配置し、母子家庭等の抱える問題の解決に指導助言し自立を支援する。自立支援教育訓練給付金は、母子家庭の母等が就労に有利な資格を取得のため教育訓練を受講する場合、その受講料の60%（下限：上限あり）を給付金として支給する。高等職業訓練促進給付金は、特定の資格取得を目指し修業する母等を支援することを目的に、訓練促進費を支給。また、日常生活支援については、生活支援などに支援が必要な家庭に支援員を派遣する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 母子家庭の就労については、就労率は高くても収入ペースでは非正規雇用をはじめ、低い水準の状態が改善されずにいる。新型コロナウイルス感染症の拡大以降、再就職や養育費確保に関する相談は増えており、ひとり親家庭が不安定な雇用状態に置かれている状況は変わらない。 （見直しや改善等の経過） 国の制度に基づく改定を随時実施。平成31年度には自立支援教育訓練給付金の対象講座の拡大及び支給上限額の引き上げを行い、高等職業訓練促進給付金では、支給額の拡大を行った。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	母子家庭の母及び父子家庭の父に対し
目的(何のために)	安定した生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	資格取得に向けた給付金・訓練促進給付金の支給を行い、あるいは生活支援員を派遣することで
成果(どのような状態にするのか)	安定・高収入の就労ができ、生活を安定させることができるようになる

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		28,173	24,228	23,278	24,250	24,250	24,250	24,250
事業費		25,213	20,902	19,952	20,924	20,924	20,924	20,924
国庫支出金		18,889	15,598	14,798	15,515	15,515	15,515	15,515
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		37	18	7	20	20	20	20
一般財源		6,287	5,286	5,147	5,389	5,389	5,389	5,389
人件費計		2,960	3,326	3,326	3,326	3,326	3,326	3,326
事務・技術（人）		0.30	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.20	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0089
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課
事務事業番号 00029 母子家庭等自立支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-09-00	母子家庭等自立支援事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)自立支援給付金及び高等職業訓練促進給付金支給額	千円	35,000.00	34,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		23,525.55	19,494.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)自立支援給付金及び高等職業訓練促進給付金の対象者数	人	50.00	50.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		33.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自立支援給付金及び高等職業訓練促進給付金の支給者数	人	25.00	25.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		11.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)母子父子自立支援員の年間延べ相談件数	人	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		1,896.00	1,879.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		就労に結びつく資格取得機会の提供			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		資格取得し、安定した就労に結びついている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		経済的に安定して資格取得のための修学ができています			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		ひとり親家庭等の自立支援に繋がっている			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	安定した生活ができるように、ハローワークでの就労支援制度の利用も含め確実に就労に結びつく資格取得に向けた相談支援を行う。日常生活支援については、一時的な支援を基本にしつつ、委託団体と連携しながら、ひとり親家庭の安定した生活につながるよう支援を行っていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	収入増につながる資格やスキルの取得への支援を行いながら、ひとり親家庭がより安定した生活を送れるよう、各種制度の利用も含め包括的な相談支援に取り組んでいく。		

267 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

268 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0090
評価年度 令和 5年度
所属 1406
事務事業番号 00030

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

所属長名 藤川 義則
記入者 小島 翔太

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	008	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市母子家庭等就業・自立支援センター事業実施要綱他					
事業概要	（事業概要） 母子家庭の母を取り巻く生活環境は大変厳しいことから、不安定な就労や、資格等のスキルを持たない母子家庭の母等に対し、家庭状況、職業適正、就業経験等に応じた就業相談を実施。就業に結びつきやすい就業支援講習会、公共職業安定所等職業紹介機関と連携した就業情報の提供を行うと同時に、離婚前相談や養育費確保に向けた、弁護士・司法書士による特別相談等の事業を実施し、ひとり親家庭の生活の安定を確保し、児童の福祉の増進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、養育費の減額や未払い、減収に追い打ちをかけるように物価高騰が家計を圧迫している。収入増に向けた就労相談も多く、家計改善も合わせ、安定した生活に向けた包括的な相談支援が求められている。 （見直しや改善等の経過） 平成26年度にセンター事業を委託から直営に戻し、利用者の利便性の向上と他の相談員との連携向上に努めた。平成30年度からは養育費支援事業を拡大し令和2年度より養育費確保の新規事業を開始。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭の母、父子家庭の父等（DV被害により、止むを得ない事情により離婚の届出を行っていないもの等を含む）及び離婚を考えている者に対して
目的(何のために)	ひとり親家庭としての生活の安定と児童の福祉増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	①職業相談及び就業情報の提供②就業支援講習会などの実施③公共職業訓練受講の案内④母子・父子自立支援プログラム策定⑤特別相談（弁護士・司法書士による法律相談）⑥養育費確保に向けた支援等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	新規就職、雇用条件の向上、養育費の確保ができ経済的に安定した生活を送れるようになる

【コスト】		(単位：千円)					
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		9,969	11,455	13,219	13,874	13,874	13,874
事業費		2,715	2,913	4,485	5,140	5,140	5,140
	国庫支出金	1,224	1,653	2,222	2,550	2,550	2,550
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	30	23	40	40	40	40
	一般財源	1,461	1,237	2,223	2,550	2,550	2,550
人件費計		7,254	8,542	8,734	8,734	8,734	8,734
	事務・技術（人）	0.31	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	1.56	2.06	2.12	2.12	2.12	2.12
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

269 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0090
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課
事務事業番号 00030 母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-10-00	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】

指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)センターでの相談件数	件		800.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00
			608.00	598.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)就労支援講習会参加数	人		45.00	45.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			45.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件		50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
			43.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		生活安定のため就労の支援は必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		物価高騰等の影響を受けつつ新規就労や雇用条件向上に繋げている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		個別相談に応じることで就労に繋がりがやすい			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		安定した就労によりひとり親の自立を推進させている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の拡大以降、離婚前相談や就労相談に加え生活相談が増える中、ひとり親の自立に向けた包括的な支援の必要性が高まっている。支援員の知識・経験の向上に努めるとともに、他の相談員、他機関・他団体との連携を密にし、ひとり親家庭の安定した生活に向けた支援を強化していく。また、養育費や面会交流に対する意識の向上に努め、児童の健全な育成に向けた支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ひとり親家庭の生活安定のために、収入増につながる就労に向けた支援を行うとともに、養育費の確保や家計相談など、離婚前も含めた自立につながる相談支援を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1406 福祉子ども未来局子ども家庭課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00030 母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)センターでの相談件数	件	800.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00
	指標説明	608.00	598.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
母子家庭等就業・自立支援センターでの母子家庭の母等の就労相談や離婚前相談等の件数（来所相談延件数） ※離婚前相談等が追加されているため、令和4年度より指標名を変更する。								
(活動)就労支援講習会参加数	人	45.00	45.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
	指標説明	45.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
センターが実施する就労支援講習会への参加数。令和6年度より一部の講座を統合する。（3講座→2講座）								
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	指標説明	43.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
就労相談、プログラム策定後の新規採用・雇用条件向上した者の件数								

事務事業評価シート（１／２）

271 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0091
評価年度 令和 5年度
所属 1406
事務事業番号 00035
【基本情報】
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
母子父子寡婦福祉資金貸付事業

所属長名 藤川 義則
記入者 小島 翔太

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	012	母子父子寡婦福祉資金貸付事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法					
事業概要	（事業概要） 母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、平成21年度、本市の中核市移行に伴い滋賀県から権限移譲された事業であり、母子及び父子並びに寡婦福祉法第13条等に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、その扶養している児童の福祉の増進を図るため修学資金を始めとした各種貸付を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ひとり親家庭は、平均収入が全国平均より低く、とりわけ母子家庭ではその傾向が強く、十分な貯蓄ができない場合が多い。そのため、修学資金など生活費以外の費用に対応できない家庭がある。一方、低所得の家庭への修学機会の拡大を図るため、学費等の給付金制度が充実してきている。 （見直しや改善等の経過） 国の制度改正に基づき見直しを実施。平成26年度より父子家庭にも対象拡大。平成28年度一部の貸付について貸付限度額の引き上げ。平成30年度、大学院の修学資金等の貸付が可能となった。					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	母子父子家庭の母父又はその扶養している児童及び寡婦の
目的(何のために)	経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、その扶養している児童の福祉の増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	修学資金等について貸し付けることで
成果(どのような状態にするのか)	自立生活を目指すことができる

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		72,374	47,675	89,296	83,456	83,456	83,456	83,456
事業費	事業費	64,754	41,105	82,726	76,886	76,886	76,886	76,886
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	64,754	41,105	82,726	76,886	76,886	76,886	76,886
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計	7,620	6,570	6,570	6,570	6,570	6,570	6,570
	事務・技術（人）	0.50	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0091
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課
事務事業番号 00035 母子父子寡婦福祉資金貸付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
32-05-05-10-20-00-01-00	母子父子寡婦福祉資金貸付金	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)口座振替件数	件	5,100.00	5,100.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		4,975.00	4,920.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)修学資金の新貸付件数	件	30.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		15.00	16.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額	千円	55,000.00	60,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
		58,754.00	41,105.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)元利償還金収納率	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		59.45	62.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		教育の保障や生活の安定のための手段となっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		資金が確保できることにより、自立や意欲向上に結び付いている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		貸付がひとり親家庭の負担とならないよう事前相談を行っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		将来的な経済自立、生活意欲の向上につながっている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	ひとり親家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、引き続き適切な貸付を行う。貸付についての相談を受ける中で、家計の見直しや健全なライフプランへの認識など、自立した生活へとつながる支援に努め、家庭が抱える課題を見つけ、他の相談員と協力しながら課題解決につなげる。償還が滞っている家庭については、現状を確認しながら償還金の徴収に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ひとり親家庭が、経済的に自立し生活意欲を高められるよう、適切な貸し付けを行うとともに、償還方法等についても相談に乗りながら、確実に徴収できるよう努める。		

273 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1406	福祉部子ども未来局子ども家庭課	
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
事務事業番号	00035	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0092
評価年度令和 5年度
所属1406
事務事業番号04174

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
新生児特別定額給付金支給事業

所属長名 藤川 義則
記入者 髭 和也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援			
事務事業	026	新生児特別定額給付金支給事業			
新規継続区分	新規				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	令和5年度大津市新生児等特別定額給付金支給要綱				
事業概要	新生児等を養育されている家庭に対して、健やかな成長を願い応援するため、本市の独自の子育て支援、人口維持施策の一つとして、新生児等一人につき3万円の「大津市新生児等特別定額給付金」を支給する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	本市の独自の子育て支援、人口維持施策の一つとして、新生児等の健やかな成長を願うとともに、新生児等の属する世帯の経済的負担の軽減を図るために予算措置した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	新生児等を養育されている家庭に、
目的(何のために)	健やかな成長を願い応援するため、
手段(どのようなやり方で)	新生児等一人につき3万円を支給し、
成果(どのような状態にするのか)	新生児等の属する世帯の経済的負担の軽減を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		0	83,312	0	0	0	0	0
事業費		0	77,376	0	0	0	0	0
国庫支出金		0	67,450	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	9,926	0	0	0	0	0
人件費計		0	5,936	0	0	0	0	0
事務・技術（人）		0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.00	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0092
評価年度 令和 5年度
所属 1406
事務事業番号 04174
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
新生児特別定額給付金支給事業

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-15-10-05-28-00-33-00	新生児特別定額給付金支給事業費
	予算所属名称
	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 申請案内件数		0.00	2,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	2,424.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 支給決定人数		0.00	2,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	2,420.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】			
評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である
		B ほぼ妥当である	A
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
	評価理由		人口減少への課題に対応した本市独自の人口維持施策の一つ
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている
		B やや上がっている	A
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
	評価理由		支給対象世帯へ迅速に給付でき、経済的負担の軽減が図れた
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である
		B やや効率的である	A
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
	評価理由		住基データから抽出、対象者へ案内し、指定口座へ迅速に支給
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している
		B やや貢献している	A
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
	評価理由		出産前からの切れ目のない支援の一つとして貢献している
	評価理由		

【所属評価結果】	
総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要 事業の方向性 縮小
所属コメント (400文字)	毎月、対象者へ申請案内ができ、速やかに支給が行えた。なお、令和4年12月に国補正予算で成立した「出産・子育て応援交付金」事業が開始されたことにより、「新生児特別定額給付金」の給付対象者と重複しており、目的としてきた少子化対策や経済的負担の軽減に一定程度の役割を果たしたものと捉えている。

【部局評価結果】	
総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要 事業の方向性 縮小
部局コメント (400文字)	当該事業は、市独自の子育て支援として事業を進めてきたが、国の出産・子育て応援交付金事業が開始されたことに伴い、趣旨目的が同一と評価するため、令和5年度をもって当該事業を終了する。

276 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1406	福祉部子ども未来局子ども家庭課	
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
事務事業番号	04174	新生児特別定額給付金支給事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0093
評価年度令和 5年度
所属1406
事務事業番号04215

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
出産・子育て応援給付事業

所属長名 藤川 義則
記入者 髭 和也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	027	出産・子育て応援給付事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市出産・子育て応援給付金支給事業実施要綱					
事業概要	妊娠期から出産・子育てまで一貫して子育て家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」に合わせて、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、出産育児等の負担軽減を図る「経済的支援」として「出産応援給付」「子育て応援給付」各5万円を支給している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題である。妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する事業を支援する交付金が創設された。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊婦や0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭を対象に
目的(何のために)	妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、出産育児等の負担軽減を図る
手段(どのようなやり方で)	妊婦や新生児等を養育している方に出産応援給付・子育て応援給付を支給
成果(どのような状態にするのか)	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	255,693	270,421	246,926	247,298	247,298	247,298	247,298
事業費	248,846	264,017	241,770	242,142	242,142	242,142	242,142
国庫支出金	207,359	181,719	160,884	240,000	240,000	240,000	240,000
県支出金	41,487	43,981	40,442	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	38,317	40,444	2,142	2,142	2,142	2,142
人件費計	6,847	6,404	5,156	5,156	5,156	5,156	5,156
事務・技術（人）	0.85	0.46	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.07	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

278 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0093
評価年度 令和 5年度
所属 1406
事務事業番号 04215
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
出産・子育て応援給付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-35-00	出産・子育て応援給付事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 応援給付申請 案内件数	数	5,700.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00
		5,972.00	4,717.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 応援給付支給 決定人数	人	5,700.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00
		4,947.00	5,248.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		国の実施要綱で、実施主体は市町村と定められている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		対象家庭に速やかに支給を行い出産・子育てができる環境を整えた			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		電子申請方式により、申請から支給決定まで迅速に対応できた			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		出産前からの切れ目のない支援の充実につながっている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	当該事業は、「伴走型相談支援」と一体となって実施する事業であり、母子保健課やすこやか相談所などと連携を図りながら、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、「出産応援給付」「子育て応援給付」を計画どおり迅速に給付し、出産育児等の負担軽減が図れるように事業の推進を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	当該事業は、全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てできる環境づくりの経済的支援の一つとして有効な施策と評価できることから、継続して関係所属と連携を図り、計画通りに進めていく。		

279 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

280 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0094
評価年度 令和 5年度
所属 1406
事務事業番号 04217
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

所属長名 藤川 義則
記入者 北野 喜之

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援			
事務事業	030	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業			
新規継続区分	新規				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分			
根拠法令等	大津市令和5年度ひとり親・ひとり親世帯以外子育て世帯生活支援特別給付金支給事業実施要綱				
事業概要	国の施策に基づき、エネルギーや食料品等の価格高騰による負担増の家計への影響が特に大きい低所得の子育て世帯に対する支援策として、「ひとり親子育て世帯生活支援特別給付金」「ひとり親世帯以外の子育て世帯生活支援特別給付金」として、対象児童1人につき5万円を支給する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	令和5年3月28日に閣議決定された特別給付金である。食費等の物価高騰に直面し、家計が悪化している低所得の子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給することにより、生活の支援を行うために措置された事業である。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	低所得の子育て世帯に、
目的(何のために)	食費等の物価高騰対策として、
手段(どのようなやり方で)	対象児童1人につき5万円を支給し、
成果(どのような状態にするのか)	生活の支援を行う。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	483,344	0	0	0	0	0
事業費	0	466,664	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	453,863	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	12,801	0	0	0	0	0
人件費計	0	16,680	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.00	1.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

281 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0094
評価年度 令和 5年度
所属 1406
事務事業番号 04217

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども家庭課
子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-34-00	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 給付案内・制度周知の回数	回	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 支給決定児童数	人	0.00	7,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	8,738.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】				基準		評価
評価項目		評価の観点				
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		国にて、実施主体は市町村とされている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		対象世帯へ迅速に支給ができ、生活支援が行えた。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		児童手当等受給口座への積極支給方式を活用し、迅速に対応できた			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		子育て支援の充実につながっている			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	国の制度に基づき、正確な審査を行い、迅速に支給が行えた。令和5年度限りの国の給付金制度として実施し、物価高騰等の影響に直面する低所得の子育て世帯に対する経済的負担の軽減に一定程度の役割を果たしたものと捉えている。		

【部局評価結果】			
総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	当該事業は、令和5年度限りの国の物価高騰対策のための給付事業であり、迅速な給付金の支給実績をもって低所得の子育て世帯の経済的負担の軽減が図れたと評価できるため、当該事業を終了する。		

282 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0095
評価年度 令和 5年度
所属 1407
事務事業番号 00020

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
子育て短期支援事業

所属長名 西 健次
記入者 草野 陽介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援			
事務事業	005	子育て短期支援事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子育て短期支援事業実施要綱				
事業概要	(事業概要) 児童を養育している家庭において、保護者の疾病や出産、仕事、育児疲れ等の理由によって、家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に乳児院若しくは児童養護施設又は里親において一時的に養育することにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図るため、短期入所生活援助（ショートステイ）事業と夜間養護（トワイライトステイ）を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 保護者の疾病や出産、仕事、育児疲れ等の理由により、保護者の養育が一時的に困難になった場合に里親や児童養護施設に預けて一時的に養育することで、児童及び家庭の福祉の向上を図る必要がある。 (見直しや改善等の経過) 令和3年度より、対象年齢を拡充し、また保護者の育児疲れにも対応できるようにしている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童を養育している家庭を対象に
目的(何のために)	家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に
手段(どのようなやり方で)	乳児院、児童養護施設、里親での短期入所生活援助（ショートステイ）事業及び、児童養護施設、里親での夜間養護（トワイライトステイ）事業の実施により、一時的に養育することで
成果(どのような状態にするのか)	児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,741	6,482	7,773	7,773	7,773	7,773	7,773
事業費	3,181	4,142	5,043	5,043	5,043	5,043	5,043
国庫支出金	928	1,205	1,472	1,472	1,472	1,472	1,472
県支出金	928	1,205	1,472	1,472	1,472	1,472	1,472
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,325	1,732	2,099	2,099	2,099	2,099	2,099
人件費計	1,560	2,340	2,730	2,730	2,730	2,730	2,730
事務・技術（人）	0.20	0.30	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

284 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0095
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1407 福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
事務事業番号 00020 子育て短期支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-19-00	子育て短期支援事業費	福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)相談件数	件	150.00	200.00	200.00	220.00	220.00	220.00	220.00
		208.00	242.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延日数	日	340.00	450.00	450.00	480.00	480.00	480.00	480.00
		459.00	599.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延人数	人	120.00	180.00	180.00	190.00	190.00	190.00	190.00
		180.00	212.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】				基準		評価	
評価項目		評価の観点					
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A	
			B	ほぼ妥当である			
			C	あまり妥当ではない			
			D	妥当ではない			
	評価理由		児童の養育が一時的に困難になった場合の支援として妥当。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A	
			B	やや上がっている			
			C	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
	評価理由		様々な事情に応じて事業を実施することで成果につながっている。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A	
			B	やや効率的である			
			C	あまり効率的でない			
			D	効率的でない			
	評価理由		一時的に児童の養育を担う事業として効率的である。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A	
			B	やや貢献している			
			C	あまり貢献していない			
			D	貢献していない			
	評価理由		一時的に養育が困難な家庭に寄り添うことで目標の達成につながる				
	評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	利用数は増加しており、事業としての必要性は高い。事業を実施するにあたっては、子どもや保護者の状況を踏まえて対応するとともに、必要に応じて他の支援にもつなげていく。今後も一時的に養育が困難になった家庭に寄り添いながら、事業の適切な運用を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	利用者が増加している状況を踏まえ、事業を適切に実施していく。事業の実施においては、子どもや家庭の状況に応じた対応に努めていくとともに、各施設及び里親会とも十分に協議をしながら行っていく。		

285 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0096
評価年度 令和 5年度
所属 1407
事務事業番号 00068
【基本情報】
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
家庭児童相談室運営事業

所属長名 西 健次
記入者 立仙 雄介

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001	子どもの人権の尊重				
事務事業	005	家庭児童相談室運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、家庭児童相談室設置運営要綱					
事業概要	（事業概要） 児童に係る家庭での適正な養育や福祉向上のため、家庭相談員が面談や訪問、電話等により専門的な相談指導を行う。特に、子どもの心身の成長等に重大な影響を与える児童虐待に対しては、相談対応を行うとともに、福祉、教育、警察など、子どもと家庭に関わる多様な機関で構成される「要保護児童対策地域協議会」の調整機関として各機関と連携し、子どもと家庭及び特定妊婦に対する支援・見守りを行い、児童虐待の早期発見・早期対応及び未然防止を図っていく。また、児童虐待の未然防止の取組みとして、研修会も開催する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 児童と家庭に関する相談は年々多様化・複雑化している。また、子どもの心身の成長に影響を及ぼす児童虐待の防止は、社会全体で取り組むべき重要な課題である。 （見直しや改善等の経過） 大津市要保護児童対策地域協議会を中心に関係機関の連携や支援体制の充実を図ってきた。また、児童虐待の未然防止のため、校園や地域など、様々な場で子どもと保護者等を対象としたプログラム研修を実施している。					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	特定妊婦と１８歳未満の子どもとその保護者を対象に
目的(何のために)	子どもや家庭への支援及び、児童虐待の早期発見・早期対応、未然防止を図るために
手段(どのようなやり方で)	面接・訪問・電話等での相談・支援及び、要保護児童対策地域協議会におけるケース会議等の実施や関係機関と連携・協働した、子どもと保護者への支援・見守りを実施することで
成果(どのような状態にするのか)	子どもや家庭への適切な支援と児童虐待の早期発見・早期対応及び未然防止を目指す。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		80,916	82,424	83,949	83,709	83,709	83,709	83,709
事業費	事業費	5,969	3,902	5,195	4,955	4,955	4,955	4,955
	国庫支出金	681	492	516	516	516	516	516
	県支出金	556	339	363	363	363	363	363
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,732	3,071	4,316	4,076	4,076	4,076	4,076
	人件費計	74,947	78,522	78,754	78,754	78,754	78,754	78,754
	事務・技術（人）	3.53	3.96	3.95	3.95	3.95	3.95	3.95
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	2.70	2.90	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	会計年度任用（人）	10.33	9.72	11.42	11.42	11.42	11.42	11.42
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

287 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0096
評価年度 令和 5年度
所属 1407
事務事業番号 00068
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
家庭児童相談室運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-16-00-01-00	家庭児童相談室運営事業費	福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
01-15-10-05-16-00-02-00	会計年度任用職員雇用経費	福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)相談件数	件	27,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00
		25,849.00	27,443.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)要保護児童対策地域協議会、実務者会議等	回	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		266.00	217.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談処理件数	件	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
		3,902.00	3,707.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童虐待把握件数	人	1,500.00	1,500.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,019.00	979.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		児童福祉法に基づき、市が適切に対応する必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		個別の相談対応や支援、多機関連携により成果につなげている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		子どもや家庭の状況に応じた寄り添った支援につなげられる。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		子どもや家庭に寄添い支えることで子どもの健全な育成につながる			
	評価理由					

【所属評価結果】				
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持	
所属コメント (400文字)	子どもの心身の成長や人格の形成に重大な影響を及ぼす児童虐待の防止は、社会全体で取り組むべき重要な課題である。児童虐待は、様々な要因が複合的に重なっていることも多いことから、子どもと家庭に関わる関係機関が連携・協力し、それぞれが役割を担いながら継続した子どもや家庭への支援、見守りを行うとともに、児童虐待の未然防止及び、早期発見、早期対応を図っていく。今後も子どもや保護者からの相談への対応を大切にするとともに、本市における児童虐待の状況を踏まえながら、必要な対応を検討していく。			

【部局評価結果】				
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持	
部局コメント (400文字)	児童虐待への対応については、子どもや家庭に関わる多様な機関が連携し、様々な視点から取り組むとともに、引き続き早期発見、早期対応及び未然防止に努めていく。また、相談対応においては、子どもや家庭の状況を踏まえて寄り添った支援を行い、子どもの心身の健全な育成を目指していく。			

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1407 福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00068 家庭児童相談室運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)相談件数	件	27,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00
	指標説明	25,849.00	27,443.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
面接相談、電話相談、家庭訪問による延べ相談件数								
(活動)要保護児童対策地域協議会、実務者会議等	回	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
	指標説明	266.00	217.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
児童虐待防止の支援体制づくりの連絡調整会議数とケース会議数※令和4年度より回数を児童から世帯単位へ								
(成果)相談処理件数	件	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
	指標説明	3,902.00	3,707.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
送致や通告、調査、施設入所措置、斡旋、助言等								
(成果)児童虐待把握件数	人	1,500.00	1,500.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
	指標説明	1,019.00	979.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
相談・通告等による把握児童数								

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0097
評価年度 令和 5年度
所属 1407
事務事業番号 03823

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
子どもの居場所づくり事業

所属長名 西 健次
記入者 竺 光彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	002	子どもを守る仕組みの充実			
取組の方向性	002	子どもの貧困対策			
事務事業	004	子どもの居場所づくり事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	(事業概要) 様々な要因により、孤独を感じたり、支援を必要とする子どもが増えてきている状況を鑑みて、子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、当該場所において、学習支援や生活支援等を行うことによって、子どもの健全な育成を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 様々な要因により、孤独を感じたり、支援を必要とする子どもが増えており、子どもの健全な育成のため、安心・安全な子どもの居場所が必要となってきた。 (見直しや改善等の経過) 子どもの居場所づくり事業については、令和3年度より、これまでの日中の居場所づくり事業と夜間のトワイライト事業を統合し、「子どもの居場所づくり事業」として2事業所で実施。令和4年度は3事業所に拡充し、また、令和5年度からは事業の実施にかかる体制の充実を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小学生から18歳に達するまでの要支援児童及び要保護児童を対象に
目的(何のために)	子どもの健全な育成のために
手段(どのようなやり方で)	子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、学習支援や生活支援等を行うことによって
成果(どのような状態にするのか)	様々な要因により、孤独を感じたり、支援を必要とする子どもの健全な育成を目指す。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,460	14,960	14,748	19,066	19,066	19,066	19,066
事業費	10,900	12,230	12,408	16,726	16,726	16,726	16,726
国庫支出金	7,266	8,153	8,272	11,150	11,150	11,150	11,150
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,634	4,077	4,136	5,576	5,576	5,576	5,576
人件費計	1,560	2,730	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340
事務・技術(人)	0.20	0.35	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

290 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0097
評価年度 令和 5年度
所属 1407
事務事業番号 03823
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課
子どもの居場所づくり事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-16-00-04-00	子どもの居場所づくり事業	福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)相談件数	件	150.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		168.00	172.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用回数	回	750.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		918.00	927.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延人数	人	450.00	560.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00
		551.00	573.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A	
	B		ほぼ妥当である				
	C		あまり妥当ではない				
	D		妥当ではない				
	評価理由	市が主体となり適切な事業者へ委託することが妥当である。					
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A	
	B		やや上がっている				
	C		あまり上がっていない				
	D		上がっていない				
	評価理由	子どもが自分の思いを出せる場として成果につながっている。					
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A	
	B		やや効率的である				
	C		あまり効率的でない				
	D		効率的でない				
	評価理由	事業所と協働して実施することで子どもの健全な育成に寄与する。					
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A	
	B		やや貢献している				
	C		あまり貢献していない				
	D		貢献していない				
	評価理由	安心できる場として子どもの健全な育成に寄与している。					
	評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	令和5年度は、委託単価設定を一部見直し、より充実した人員体制で子どもに寄添えるように事業を実施した。当該事業は、子どもたちが自分の思いを表現したり、自分らしく過ごすなど、とても大切な場となっている。今後も、様々な要因により、居場所を必要とする子どもたちに対して、寄り添い、安心できる場として当該事業を行うとともに、継続的な事業の実施を目指していく。また、事業を実施する箇所に関して、地域バランスを踏まえた拡充について、検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	子どもの居場所づくり事業を通して、子どもが将来に向けて健やかに成長していくことを今後も目指していく。事業の実施においては、委託先の事業者とも丁寧に関連しながら進めていく。また、事業の実施箇所については、地域における担い手や資源についても把握しながら、拡充に向けて慎重に検討していく。		

291 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1407	福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課	
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
事務事業番号	03823	子どもの居場所づくり事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

292 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0098
評価年度 令和 5年度
所属 1430
事務事業番号 00041

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局児童クラブ課
放課後児童健全育成事業

所属長名 白子 広治
記入者 金田一 正太

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	003	児童クラブの量の確保と質の向上				
事務事業	001	放課後児童健全育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象		
根拠法令等	児童福祉法、大津市立児童クラブ条例					
事業概要	(事業概要) 保護者の就労等、放課後、家庭で保育を受けることが困難な児童の健全な育成を図るため、大津市立児童クラブ（37か所。以下「公立児童クラブ」）を開設、運営している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市全体の児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇等により保護者の児童クラブの利用ニーズは増加している。また、宅地開発等の影響により、児童数の増加が著しい公立児童クラブもあるなど、施設の狭あい化の解消が課題となっている。 (見直しや改善等の経過) 施設の狭あい化の解消を目的に、民間事業者による児童クラブの開設、参入促進のための取組を行うほか、学校施設や公共施設を活用しながら児童の遊びと生活のスペースの確保に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、
目的(何のために)	児童の健全な育成を図るため、
手段(どのようなやり方で)	授業の終了後等に公立児童クラブにおいて適切な遊び及び生活の場を与え、
成果(どのような状態にするのか)	児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	194,218	205,666	208,708	250,984	250,984	250,984	250,984
事業費	165,051	176,162	179,204	221,480	221,480	221,480	221,480
国庫支出金	25,062	24,213	28,550	24,873	24,873	24,873	24,873
県支出金	24,060	23,125	28,550	23,755	23,755	23,755	23,755
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	92,868	90,804	94,653	93,275	93,275	93,275	93,275
一般財源	23,061	38,020	27,451	79,577	79,577	79,577	79,577
人件費計	29,167	29,504	29,504	29,504	29,504	29,504	29,504
事務・技術（人）	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.37	3.37	3.37	3.37	3.37	3.37	3.37
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0098
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1430 福祉部子ども未来局児童クラブ課
事務事業番号 00041 放課後児童健全育成事業

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-15-10-40-69-00-01-00	放課後児童健全育成事業費
	福祉部子ども未来局児童クラブ課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)公立の入所児童数 ※目標を下回ること	人	3,223.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00
		3,008.00	3,216.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)公立の受入可能人数に対する5月1日現在の入所率	率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		93.33	100.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		放課後における子育て支援施策の重要な事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		遊びや生活を通して児童の健全な育成と保護者支援に寄与している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		国県の財源を活用。必要に応じた施設修繕等を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		保護者の就労と子育ての両面を支援しており施策に貢献している。			
	評価理由					

【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き必要に応じた修繕等を行いながら施設の適正な維持管理に努めるとともに、施設の狭あい化の解消と保育環境の充実のための取組を行っていく。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
部局コメント (400文字)	保護者の働き方の多様化及び共働き世帯の増加等を背景として児童クラブの利用ニーズは増加していることから、子どもたちが心身ともに健康に成長できるよう、公立児童クラブの施設の狭あい化の解消と適切な施設の維持管理により、公立児童クラブの保育環境の向上のための取組を推進する。

294 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

295 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0099
評価年度 令和 5年度
所属 1430
事務事業番号 02616
進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局児童クラブ課
民間児童クラブ運営助成事業

所属長名 白子 広治
記入者 金田一 正太

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	003	児童クラブの量の確保と質の向上				
事務事業	004	民間児童クラブ運営助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	児童福祉法、大津市児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例					
事業概要	(事業概要) 大津市立児童クラブ（以下「公立児童クラブ」）の利用児童数の増加に伴う施設の狭あい化の解消を目的として、民間児童クラブの参入を促進する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) コロナ禍以降、保護者の放課後児童クラブの利用ニーズが増加しており、一部の小学校区においては、大津市立児童クラブの狭あい化が問題となっている。 (これまでの見直し) 平成23年度から民間児童クラブを運営する社会福祉法人等に補助金を交付し、運営を支援している。また、公立児童クラブの狭あい化が著しい小学校区において、公募により児童クラブ開設に係る補助金を交付している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会福祉法人等の民間児童クラブを開設、運営する者に対して
目的(何のために)	公立児童クラブの狭あい化の解消を目的に
手段(どのようなやり方で)	児童クラブの開設、運営等に係る費用に対して補助金を交付し
成果(どのような状態にするのか)	市内の児童クラブの保育環境が充実し、児童の健全な育成と保護者の就労を支援する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	315,755	391,014	415,998	623,299	623,299	623,299	623,299
事業費	307,955	383,214	408,198	615,499	615,499	615,499	615,499
国庫支出金	97,092	119,613	119,940	198,663	198,663	198,663	198,663
県支出金	90,254	107,216	119,940	181,058	181,058	181,058	181,058
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	120,609	156,385	168,318	235,778	235,778	235,778	235,778
人件費計	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
事務・技術(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

296 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0099
評価年度 令和 5年度
所属 1430
事務事業番号 02616

進捗区分 評価完了
福祉部子ども未来局児童クラブ課
民間児童クラブ運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-40-69-00-02-00	民間児童クラブ運営助成事業費	福祉部子ども未来局児童クラブ課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)民間クラブ受入可能人数（施設の生活面積/1.65㎡）	人	1,346.00	1,923.00	1,956.00	1,956.00	1,956.00	1,956.00	1,956.00
		1,764.00	1,956.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	28.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
		24.00	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		公立の狭あい化解消に貢献しており、妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		施設数及び利用児童数も増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		公立の整備費及び人件費に比してコスト減となっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		公立の狭あい化解消と子育て環境の充実に寄与している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	引き続き、狭あい化の著しい公立児童クラブが所在する小学校区へ民間児童クラブの開設を促進するとともに、民間児童クラブの安定的な経営を支援し、公立児童クラブの狭あい化の解消の取組を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	公立児童クラブの狭あい化の解消は喫緊の課題であることから、引き続き必要とされる地域に民間児童クラブの開設及び経営を支援することで、児童の利用を促進し市内全体の児童クラブの保育環境の充実に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1430 福祉子ども未来局児童クラブ課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02616 民間児童クラブ運営助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)民間クラブ受入可能人数（施設の生活面積/1.65㎡）	人	1,346.00	1,923.00	1,956.00	1,956.00	1,956.00	1,956.00	1,956.00
	指標説明	1,764.00	1,956.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
子ども・若者支援計画（令和6年度まで）に掲げる目標値ー市立児童クラブ受入可能人数（施設の生活面積を1.65㎡で除した数）								
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	28.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
	指標説明	24.00	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5月1日現在の児童数で一人当たりの基準面積を算定								